

ネイティブパイナップルブロメライン

Cat. No. NATE-0665

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ブロメラインは、タンパク質の切断に¹して広範な特異性を持つシステインエンドペプチダーゼです。ブロメラインは、茎または果実の一部から得られる場合があります。茎ブロメライン (SBM) (EC 3.4.22.32) は、プロテオリティック酵素であり、アナナス・コモサスから得られるブロメラインファミリーのプロテオリティック酵素の中で広く受け入れられている植物療法²です。SBMの治療的利点のいくつかには、血小板凝集の可逆的抑制、狭心症、気管支炎、副鼻腔炎、外科的外傷、静脈血栓炎、腎盂腎炎、特に抗生物質の³剤の吸収促進が含まれます。その抗転移および抗炎症作用は、明らかにそのプロテオリティック活性とは独立しています。

用途 ブロメラインは、炎症を引き起こすプロスタグランジンの生合成を抑制するために使用される可能性があります。また、凝固効率を低下させるために使用されることがあります。パイナップルの茎から得られるブロメラインは、ミツバチが集めた花粉の酵素加水分解物を作るために使用されてきました。

別名 ステムブロメライン; EC 3.4.22.32; 37189-34-7; ブロメライン; パイナップルステムブロメライン; SBM

製品情報

種 パイナップル

由来 パイナップルの茎

形態 マンニトールとリン酸カリウム緩衝塩を含む凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.22.32

CAS登録番号 37189-34-7

活性 > 3 ユニット/mg タンパク質; 5-15 ユニット/mg タンパク質

組成 タンパク質、> 35% ビウレット

緩衝液 製品は、pH 4.5のアセテートバッファー中に1 mg/mLの濃度で懸濁され、曇ったオフホワイトの懸濁液を生成する場合があります。

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 4.6の条件下で、N-alpha-CBZ-L-リジンp-ニトロフェニルエステルから1分あたり1.0マイクロモルのp-ニトロフェノールを放出します。古い滴定ユニット1つ (45°CでpH 4.5) は、約1.7の新しいユニット (25°CでpH 4.6) に相当します。